

## 平成24年第3回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀 千雅 8月17日 8:30	1	子ども達の生活環境の現状について	① 小中学校における「いじめ」問題の現状と課題と今後の取り組みについて ② 各PTAからの要望事項に関しての改善取り組みについて ③ 小学校の夏休みのプール開放について
	2	2020年東京オリンピック誘致に関しての東大和市の対応について	① 現状における東大和市の対応について ② 25年の国体PR活動とのコラボレーションについて ③ オリンピックの東大和版「東大和市民ピック」の開催について
	3	介護予防施策の充実について	① 健康麻雀に関して市の介護予防施策に積極的に取り上げられないか。 ② 落語や、お笑いなどを通じた介護予防施策を積極的に取り上げられないか。 ③ 体育施設などの市内団体における利用料金について
2. 根岸 聡彦 8月17日 8:30	1	東大和市の福祉政策について	① 市が考える福祉の在り方について ア 市民と市と社会福祉協議会が一体となった協働の福祉システムとはどのようなものか。 イ これまでの取り組みの成果と今後の課題は ② (仮称)総合福祉センターについて ア 福祉の中核としての「総合福祉センター」の在り方は イ 現在の進捗状況は ウ 今後のスケジュールおよび展望は
	2	東大和市の防災について	① 市長懇談会について ア 開催の目的は イ その総括は ② 東大和市地域防災計画について ア 東京都が作成した防災計画との関連性は イ 地域防災計画に求められる効果は ウ 防災計画の市民への周知は
	3	東大和市のごみ対策について	① ごみゼロプランについて ア 5か年計画における当初の目的と進捗の度合いは イ 最終年度を迎えたことでの評価は ウ 今後の目標と課題は ② ごみの収集について ア ごみの収集作業にかかわる現時点の課題は イ 課題解決に向けた取り組みは
3. 床鍋 義博 8月17日 8:30	1	市道2号線と市道987号線との交差点における、交通混雑及び安全対策について	① 現状について ② 対策及び予定について
	2	小中学校の施設管理について	① 外部委託の現状について ② 業務の管理・評価について

	3	市内の体育施設について	① 近隣他市との比較における現状について ② 拡充の予定（施設、駐車場、料金等）について ③ 市民の意見の反映の方法について
	4	教育長の教育方針について	① 小学校の水泳指導に関する現状について ② 水泳指導における級別テストと級テープの取り扱いの変更について
	5	ゴミ政策について	① 今年度の目標と将来に向けての目標について ② 3市共同資源物処理施設の建設について2012年2月15日庁議の決定についてと今後の進め方について
	6	放射性物質検査機器について	① 放射性物質検査機器及び検査体制・方針について
4. 中野 志乃夫 8月17日 8:54	1	東大和市における孤独死、不審死の実態について	① 7月末に東大和市において家族の不審な死亡報道があったが、実態はどうであったのか。 ② 東大和市における最近の孤独死の件数と不審死の件数を把握しているか。また、その背景をどのように分析し、対策を講じているか。
	2	HP「東大和市に対するご意見・ご要望」市報「市長への手紙」の対応について	ホームページの「東大和市に対するご意見・ご要望」と市報の「市長への手紙」による要望等にどのように対処しているか。市民対応に問題はないか。
	3	ダイエー跡地の店舗計画について	隣接住民から建物解体時のアスベスト対策などが万全か不安視する声を聞く。また、新しく新設される店舗がグリーンタウンとかなり近くなることで、日照やプライバシーの点、更に現在ある緑道が死角化されて防犯上も問題が出るのではないかと危惧の声も聞く。市としての対応と見解を伺いたい。
5. 大后 治雄 8月17日 9:37	1	財政について	① 不均一課税・超過課税について ア 市における現状は イ メリット・デメリットは ウ 採用の検討は エ 市民税（個人・法人）・固定資産税・都市計画税・軽自動車税各々の標準税率と不均一課税・超過課税の範囲は オ 他自治体の事例は ② 法定外税について ア メリット・デメリットは イ 他自治体の事例は
6. 二宮 由子 8月22日 16:07	1	観光事業の推進について	① 現状及び対応は ② 観光資源の発掘及び整備の進捗状況は ア 「もりあげよお～東大和！」の詳細及び今後の予定は イ 東大和市“まちフォトコンテスト”について ウ ボランティアガイドの育成は ③ 「地域ブランド」構築に向けた取り組みは ア 「地域ブランド」の捉え方は イ 農商工各業種への対応は ウ 他市の状況は エ 「うまかんべえ～祭」の活用は

			<p>オ ご当地グルメとして選ばれた創作料理の活用方法は</p> <p>④ 観光情報の発信は</p> <p>ア 観光マップの進捗状況は</p> <p>イ ホームページの活用は</p> <p>⑤ 観光基本計画策定の考えは</p> <p>⑥ 今後の課題は</p>
<p>7. 押本 修</p> <p>8月22日</p> <p>17:14</p>	1	観光事業について	<p>① 市の考える観光とは</p> <p>ア 今年度の事業予定について</p> <p>    a イベント</p> <p>    b その他</p> <p>イ 市内外から東大和市に足を運んでもらうための方策とは</p> <p>    a イベントの開催によって集客していくのか、それとも自然環境を目的として足を運んでもらうのか。</p> <p>ウ まずは市民にもっと東大和市の良さを知ってもらわなければならないか。</p>
	2	休憩時間について	<p>① 市職員の休憩時間について</p> <p>ア 現状としてどう実施され、守られているのか。</p> <p>    a 本庁舎内</p> <p>    b その他</p> <p>イ 課題と今後について</p>
<p>8. 実川 圭子</p> <p>8月23日</p> <p>11:35</p>	1	地域防災計画について	<p>① 自助、共助の避難ができるように、きめ細かく待避場所を指定できないか。</p> <p>② 子どもの視点に立った防災計画の見直しについて</p> <p>ア 妊娠中の女性や、小さい子どもを連れている方が安心して過ごせる避難所運営について対策をうかがう。</p> <p>イ 災害時の子どもに関する相談窓口を子ども家庭支援センター等に指定することはできないか。</p>
	2	庁用車について	<p>① 利用状況と、経費や環境負荷について</p> <p>② 第二次地球温暖化対策実行計画のエコアクション3についての対策と評価方法について</p>
	3	市民との協働について	<p>① 市民協働係がこれまでおこなってきたことと、今後目指すものは何か。</p> <p>② 公募による協働事業について</p>
<p>9. 御殿谷一彦</p> <p>8月23日</p> <p>13:11</p>	1	コンビニエンスストアにおける証明書交付の推進	<p>① コンビニでの税金の納付の状況について</p> <p>② 証明書交付時に必要な住基カードの発行状況について</p> <p>    ア 住基カードの発行状況と課題</p> <p>③ コンビニでの証明書交付の調査研究状況</p> <p>    ア 従来、一般に考えられていた自動交付機の問題点</p> <p>    イ 想定されるコンビニでの交付の仕組み</p> <p>    ウ 他自治体の状況</p> <p>    エ 課題と効果</p>

	2	レセプトを活用した国民健康保険医療費と生活保護費の医療扶助軽減	① 一人当たりの医療費の推移 ア 国保と生活保護、それぞれの実態は ② 現在の医療費軽減策 ③ レセプトデータの活用による健康促進と医療費軽減 ア ジェネリック薬品使用促進の状況 イ 重複受診、頻回受診等への指導推進
	3	市役所業務・事務のアウトソース化	① 足立区で始めた自治体の業務の外部委託化検討について ア 「日本公共サービス研究会」が設けられたが、当市の取り組みについて ② 職員給与計算等の総務的事務のアウトソース化について ア 他自治体の状況 イ 阻害要因 ③ 窓口業務等の定型業務への非正規職員の活用
10.尾崎 利一 8月23日 13:34	1	道路占用料の大幅値下げなど大企業の負担軽減と市民負担増に反対し、市民の暮らしを守る市政への転換を求める。市民負担増・扶助費等削減の撤回と道路占用料の値上げについて	① 市長は市財政が厳しいとして、今年度、下水道使用料や国保税、保育料や学童保育所育成料、その他利用料・使用料の値上げをいっせいに検討するとしています。また、社会保障費の根幹である扶助費の削減を今年から毎年検討するとしています。自転車駐輪場や家庭ごみについても有料化の方向へ向おうとしています。国政の動向や地域経済と市民の暮らしの現状などに鑑み、市民負担増や扶助費の削減は撤回すべきですが、いかがですか。 ② 市は、今年度から道路占用料の値下げを実施しています。年間7874万9千円から5506万6千円に、2368万3千円の減収となります。市の答弁によれば、値下げの恩恵を受けるのは、東京電力が125万7千円、東京ガスが1186万7千円、NTTが1055万9千円の3社だけです。 ア 市民への負担増、サービス切捨てをねらう一方で、今年度、大企業3社だけに2368万円、3割以上の道路占用料値下げをふるまったのは間違いでした。いかがですか。 イ 前議会で、私は、道路占用料については道路管理者の自主裁量権を発揮して増収をはかるよう求めました。市長は、「今回の見直しの中でしっかりと検討していきたい」と答弁しました。検討状況・検討内容について伺います。
	2	学校給食について。給食センターと3市共同資源物処理施設の用地近接などについて	① 市と教育委員会は、桜が丘市民広場を削って、新給食センターを建設する計画を明らかにしました。単独校方式による建設計画を凍結して10年以上も放置していた責任をあいまいにしたまま、ただでさえ貧弱と言われるスポーツ施設を削る計画には反対です。同時に、衛生面から見ただけでも市の給食センターの現状はこれ以上放置できません。教育委員会が本年7月に策定した「東大和市学校給食計画」と、これに基づいて同年8月に東大和市が策定した「東大和市学校給食

	3	<p>オスプレイの展開など横田基地米軍の危険・無法な運用をやめさせるべきことについて</p>	<p>基本計画（案）」について伺います。</p> <p>② 給食センター建設計画と3市共同資源物処理施設建設計画によれば用地がきわめて近接していますが、このことについて市の認識を伺います。</p> <p>③ 「地産地消の推進」「伝統的な食文化の理解」「健康増進」など様々な観点から、市として給食補助を実施すべきです。このことによって、保護者の負担増なしに学校給食の充実が図れます。いかがですか。</p> <p>① オスプレイが日本に配備され運行を開始すれば、横田基地へも展開する可能性があることを国が認めました。墜落を繰り返し、「未亡人製造機」の異名をとる危険なオスプレイ配備については、市民の生命と安全を守る立場から撤回を求めるべきですが、いかがですか。</p> <p>② 横田基地米軍は、現在でも航空法の最低安全高度300mを大幅に下回る150mでヘリコプターを運航すると公言してはばからない、日本国民と東大和市民の生命と安全をないがしろにする態度をとっています。今年3月議会において、市は「今後は市の独自判断において対応を検討していきたい」と答弁しました。その後の検討内容と取り組みについて伺います。</p>
<p>11.東口 正美 8月24日 9:51</p>	1	<p>子育て支援について</p>	<p>① 年齢別の親と子の居場所づくり・子育て支援について、現在の利用状況と今後の課題について伺います。</p> <p>ア 両親学級</p> <p>イ 0歳から未就園児</p> <p>a 保健センターでの支援</p> <p>b 子ども家庭支援センターでの支援</p> <p>c 児童館での支援</p> <p>d 公民館での支援（保育室の利用状況も含む）</p> <p>e 子育てひろばでの支援</p> <p>ウ 就園から就学前まで</p> <p>a 保健センターでの支援</p> <p>b 子ども家庭支援センターでの支援</p> <p>c 児童館での支援</p> <p>d 公民館での支援（保育室の利用状況も含む）</p> <p>エ 小学生</p> <p>a 児童館での支援</p> <p>b 公民館での支援（夏休みみんなでつくる遊空間について）</p> <p>オ 中学生・高校生</p> <p>a 児童館での支援</p> <p>b 公民館での支援</p> <p>② 各種の子育て相談事業の利用状況と課題について伺います。</p> <p>ア すこやか相談</p> <p>イ 子育て相談（かるがも）</p> <p>ウ 出張相談（出張かるがもひろば）</p>

			<p>エ のびのび相談（少年センターの出張相談）</p> <p>オ 子育てひろば</p> <p>カ さわやか教育相談</p> <p>③ 現在のさわやかサービス（子育て支援事業）を、ファミリーサポートセンターへ移行を検討しているとありますが、検討の現状課題についてお聞かせください。</p> <p>④ 市民の子育て支援に対するニーズを、東大和市次世代育成計画（後期）推進の中に、どのように反映させていこうと考えているか、お聞かせください。</p>
	2	<p>老朽化する社会インフラの更新と防災・減災について</p>	<p>① 平成24年4月改訂の「東大和市が所有する防災上重要な公共建築物の耐震化整備プログラム」について、現在の進捗状況と今後の実施計画について、お聞かせください。</p> <p>② 東大和市が管理する公共施設、インフラの機能を維持していくための更新投資について、市のお考えをお聞かせください。</p> <p>ア 東大和市の年齢別の人口推移と公共施設のあり方について</p> <p>イ 防災・減災の観点からの、市内の道路状況のあり方について</p>
<p>12. 中間 建二</p> <p>8月24日</p> <p>9:58</p>	1	<p>いじめ問題への対策について</p>	<p>① 小中学校の現場において、いじめの実態把握と対応はどのように行われているのか。</p> <p>② いじめ問題を解決していくためには、どのような手段を講じていけるのか。</p> <p>③ 子どもを褒めることや長所を見つけることによる教育的効果と人権教育のあり方について、どのように考えるか。</p> <p>④ 大人を含めた社会全体におけるいじめ問題と解決方法について、「いじめ撲滅宣言」や「いじめ防止条例」など、先駆的な施策に取り組むべきではないか。</p>
	2	<p>脳脊髄液減少症の周知と対応について</p>	<p>① この病気に関する知識の普及や啓発について、取り組む必要があると考えるが、どうか。</p>
	3	<p>うつ病への対策について</p>	<p>① うつ病の早期発見と治療について、どのような対策がとられているか。</p> <p>② 認知行動療法の有効性と啓発についての考えは</p> <p>③ 「こころの体温計」を活用した早期発見に取り組むべきではないか。</p>
	4	<p>がん検診の充実について</p>	<p>① 胃がん検診や特定健診にピロリ菌検査を導入することで、胃がんの早期発見に取り組むべきと考えるが、どのような検討がなされているか。</p>
<p>13. 和地 仁美</p> <p>8月24日</p> <p>10:06</p>	1	<p>東大和市の学校給食施策について</p>	<p>① 東大和市の学校給食の現状と基本理念・基本方針に照らし合わせた課題について</p> <p>② 市内の学校給食と市内の農業振興との関わりについて</p> <p>ア 現状について</p>

	2	市民との協働について	<p>イ 今後の目標と具体的な計画の有無について。 また、それを到達するうえでの解決すべき課題について</p> <p>ウ 参考にした他市の事例の有無について</p> <p>③ 新給食センター建築に伴う施策について</p> <p>ア 給食センターというハードが一新されることに伴い市の学校給食の施策（ソフト面）でも一新されることがあるかどうかについて</p> <p>イ 新給食センター建築について、学校給食に限らず新しい建築物ができることにより、市民全体に還元できる『市の活性化』を目指す施策の有無について</p> <p>① 現状と今までの取組について</p> <p>ア 市民ボランティアやNPOなどの活動について</p> <p>イ 上記ア以外の協働事業について</p> <p>ウ 市民との協働事業における市職員の関わり方について</p> <p>② 東大和市が考える『協働』の意味と、それについての庁舎内での認識の浸透について</p> <p>③ 今後について</p> <p>ア 課題と整えるべき体制などについて</p> <p>イ 「指針」や「条例」など協働について明文化する予定があるかどうかについて</p> <p>ウ 今後、取り組む計画のある協働事業の有無について</p>
14. 佐竹 康彦 8月24日 10:41	1	家庭ごみ収集のあり方について	<p>① 古紙回収事業について</p> <p>ア 過去5年間の回収量と売り払い額について</p> <p>a 過去5年間の実績を伺う。</p> <p>b 売り払いによる収入は市政のどの部分に使われているのか伺う。</p> <p>イ 委託業者以外による古紙の持ち去りについて</p> <p>a 「持ち去り」行為の有無とそれに対する市の認識を伺う。</p> <p>b 「持ち去り」行為に対する市の対策を伺う。</p> <p>c 他市で制定されている「持ち去り禁止条例」を、当市で制定することについて伺う。</p> <p>② 家庭ごみの戸別収集について</p> <p>ア 家庭ごみの収集に関する現状と課題、その解決策としての戸別収集という方法について、市の考えを伺う。</p>
	2	障害者福祉政策について	<p>① 第2次東大和市障害者計画・第3期東大和市障害福祉計画について</p> <p>ア 市内障害福祉サービス等事業所利用のうち、生活介護・短期入所・施設入所支援について、現状の認識と今後について伺う。</p> <p>イ 計画相談支援について、実施状況を伺う。</p> <p>ウ 新規計画の進捗状況等について伺う。</p> <p>② 平成29年度までの竣工・完成が予定されている（仮称）東大和市総合福祉センターの建設に</p>

	3	通学路の安全対策について	<p>よって、市の障害者福祉サービスがどう充実されていくのか伺う。</p> <p>① 通学路の安全点検実施の状況について  ア 市において実施した通学路の安全点検の成果について伺う。  イ 点検によりどのような課題が判明したのかについて伺う。</p> <p>② 今後の対応策について  ア 道路交通環境の整備について  イ 地域や関係機関との協力体制について  ウ 交通安全教育について</p>
15. 森田 真一 8月24日 10:58	1	家庭ごみ有料化に反対し、ごみ減量策の抜本強化について	<p>市長は、7月23日付で東大和市一般廃棄物処理基本計画「ごみゼロプラン」の改訂と処理費用の負担のあり方について廃棄物減量等推進審議会に諮問をされました。以下、伺います。</p> <p>① 市長は、家庭ごみ有料化の方向を打ち出しましたが、その目的とメリット、デメリットについて市の認識を伺います。</p> <p>② 一般廃棄物処理について、現状と課題、対策について伺います。</p> <p>③ ごみ問題の根本的な解決を図るには、排出時の減量対策だけではもはや追いつきません。拡大生産者責任の考え方に立って製造・流通段階からごみとなる物の発生抑制策を図っていくことが重要と考えます。市の見解を伺います。</p>
	2	上仲原公園のトイレについて	<p>上仲原公園の公衆トイレの便座を洋式化してほしいという市民からの要望が出されています。高齢化の著しい地域での市民要求にぜひ早急に対応していただきたく、整備の予定について伺います。</p>
16. 西川 洋一 8月24日 11:04	1	総合福祉センター建設について	<p>平成24年7月作成された（仮称）東大和市総合福祉センター基本計画について伺います。</p> <p>① 施設の内容、運営の考え方について</p> <p>② 市財政の好転が当面見込めないとして、実績のある民間法人（社会福祉法人）に設計・建設・運営をゆだねるとしてはいますが、（仮称）総合福祉センター事業に対する市の責務はどうなりますか。総合福祉センターの果たすべき公共的役割が十分に果たせなくなる懸念はありませんか。</p> <p>③ （仮称）総合福祉センターがおこなう事業のうち、収益性の高い事業は民間法人におこなわせ、収益性が低く運営上採算が見込めないものについては、市から補助を出す、または委託費を出すという内容がありますが、どういうものですか、伺います。</p>
	2	原発にたよらないエネルギー問題に、市も積極的に取り組むことについて	<p>① 原発ゼロのエネルギー政策への転換に向かって市も直ちに施策の展開をすべきです。市長の見解を伺います。エネルギー政策は国の問題だというだけではすまされない問題です。</p> <p>ア 市民の安全を守る立場からも、市長は原発ゼロ及び原発再稼働中止・反対の表明をすべきではありませんか。</p>

	3	平和施策	<p>イ この間何度か、市としてのエネルギー政策について質問を行いました。いまだ検討もしていないとの答弁が続きました。</p> <p>多くの国民が真剣に原発ゼロのエネルギー政策を求めているときに、東大和市政はこの問題で怠慢ではありませんか。</p> <p>ウ 福島第一原子力発電所の事故は、いまなお終息せず、多くの被害者が、原状に復帰できていません。</p> <p>福島第一原子力発電所は現在危険な状況にあると聞きます。市としても状況把握していますか。市の防災計画ではどう対応しようとしていますか。</p> <p>エ 東大和市の農業被害に対する補償は、現在どこまで進んでいますか。</p> <p>オ 放射能被害から市民を守る取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査を希望する市民が持ち込んだ検体を測定すること</li> <li>・放射性物質の除去について、施策を強化することを求めます。</li> </ul> <p>② 太陽光発電など自然再生エネルギー利用設備設置への助成をすることなど、市の取り組みについて引き続き伺います。</p> <p>核兵器廃絶への取り組み及び平和施策のより一層の充実を求めます。</p>
17. 中村庄一郎 8月24日 11:50	1	まちづくりについて	<p>① 緑地保全の現状と今後の課題についてお伺いします。</p> <p>ア 緑や屋敷林の保存にあたっては、財政負担も大きいと思うが市としての考え</p> <p>イ 都は、都立東大和公園の緑地整備方針を平成18年に策定したものを、平成23年12月に「優先整備区域」として改定した。</p> <p>当該区域は「新規事業化区域」として、平成32年までに事業認可の取得を目指すとしているが、当該区域の地権者より早期の事業認可に向けての市としての課題は。又地権者による相談や要望について</p> <p>② 産業振興についてお伺いします。</p> <p>ア 三多摩地域では、大規模工場等の撤退が従業員20人以上の工場の統計では、平成20年に1,080社あったものが平成22年には931社となった。2年間で149社が撤退した。地域経済やまちづくり等に大きな影響が出てきている。(雇用、飲食店や小売店の来客数の減少、法人税や従業員の住民税や消費税等の税収減)市としての現状と今後の対応策について</p> <p>イ 農業の育成と地産地消の推進についての現状と今後の課題</p> <p>③ 観光施策についてお伺いします。</p> <p>ア 観光まちづくり事業への支援制度の創設についての考え</p> <p>イ 中長期的な市民参加事業等の考え</p>

			<p>④ 市職員の現状と今後の課題についてお伺いします。</p> <p>ア 採用と研修等についての現状と今後の課題</p> <p>イ 人材の確保、人事異動や外部団体への派遣についての現状と今後の課題</p>
--	--	--	---